

事業コンセプト／計画概要

渋谷駅と青山・表参道をつなぐ場に
新たなにぎわいを創出

渋谷駅とつながる多層かつ回遊性の高い歩行者ネットワークを整備するとともに、渋谷駅周辺に不足している広場空間を創出することで、渋谷駅東口エリアの新たなにぎわいと交流の拠点となることを目指す再開発事業です。建物の低層部（1階～4階）には店舗などを配置するとともに、1階と2階には歩行者ネットワークと一体になった3つの屋外広場やアトリウム（屋内広場）を多層的に整備。高層部（5階～23階）には高規格なオフィスを配置し、最上階オフィスフロアには屋上テラスも設ける予定です。さらに建物地下には、周辺施設への配送業者が利用可能な地域荷捌き所を設置します。

2019年8月に再開発組合を設立し、2020年8月に権利変換計画認可を受け、既存建物の解体工事に着手しました。今後は再開発組合とともに、新築着工を行い、事業を推進していきます。

◆ 歩行者ネットワークを強化

- 周辺が坂道で歩行者の利便性が低いため、1階と2階のアトリウムにエレベーターやエスカレーターを設置。地域に開放することで、渋谷駅から青山方面および渋谷クロスタワー方面へのアクセス性を改善
- 宮益坂から渋谷クロスタワーなど周辺街区間をつなぐ新たな回遊性の高い歩行者ネットワークを整備
 - ① 渋谷ヒカリエ3階と当地区2階広場を接続するデッキ
 - ② 国道246号を横断する既存歩道橋と当地区2階を接続するデッキ

◆ ゆとりある広場の創出

- 周辺の高低差を生かし、歩行者ネットワークと連続した多層の広場を整備
- 植栽などを配置した一般の方も利用できる潤いある屋外広場を3カ所整備
- 災害時の徒歩帰宅者への情報提供と帰宅困難者の受け入れに寄与するたまり空間を整備

◆ 地域のにぎわいを創出

- 歩行者ネットワークと連続した広場空間や店舗などの施設を整備
- 建物壁面の後退と駐車場出入口の分離により、安全で歩きやすいゆとりある歩行空間を整備



国道246号側 外観イメージ



多方面への歩行者ネットワークイメージ

建物の概要

事業名称	渋谷二丁目17地区第一種市街地再開発事業	階数	地上23階、地下4階
施行者	渋谷二丁目17地区市街地再開発組合	高さ	約123m
施行地区	東京都渋谷区渋谷二丁目100番他	設計者	渋谷二丁目17地区設計共同企業体
用途	事務所、店舗、駐車場等	施工者	株式会社竹中工務店
施工面積	約0.5ha	着工予定	2021年12月
敷地面積	約3,460㎡	開業予定	2024年度
延床面積	約44,500㎡		